

# 日本学術会議主催学術フォーラム

## 自然災害国際ネットワークの構築に向けて： 固体地球科学と市民との対話

日時：平成25年2月1日（金）13:00～18:00

場所：日本学術会議講堂 定員：申込み先着300名



### 開催趣旨

災害国日本で行われている最近の研究成果のうちから、主として固体地球科学上の近年の災害を具体的に検討し、その研究成果を防災に応用し、さらに国際的な貢献をするにはどうあるべきかを討論する。

中でも今回は、地震、津波、火山、地すべり・崩壊の4点に絞り、その学問の到達度を確実性と不確定性の検討とともに、時間軸の中でとらえ、災害の生じる条件、頻度、防災への取り組むべき姿、国際社会に於ける情報ネットワークの必要性などについて、参加者と広く議論し、共有することとしたい。

### 次第

13:00～13:05 開会挨拶  
北里 洋（日本学術会議会員、独立行政法人海洋研究開発機構・IUGS分科会委員長）

13:05～13:10 問題提起  
小川 勇二郎（日本学術会議特任連携会員、IUGS-EC理事）

13:10～13:40 国際統合自然災害研究（IRDR）と政策上の問題点  
竹内 邦良（日本学術会議特任連携会員、IRDR委員、独立行政法人土木研究所  
水災害・リスクマネジメント国際センター（ICHARM））

13:40～14:00 地震と古地震、津波  
佐竹 健治（日本学術会議連携会員、東京大学地震研究所教授）

14:00～14:20 津波堆積物  
後藤 和久（東北大学災害科学国際研究所准教授）

14:20～14:40 津波工学  
佐藤 慎司（東京大学大学院工学研究科基盤工学教授）

14:40～14:50 休憩

14:50～15:10 活断層  
佃 榮吉（連携会員、独立行政法人産業技術総合研究所理事；G-EVER委員長）

15:10～15:30 地殻変動  
池田 安隆（東京大学大学院地球惑星科学専攻教授）

15:30～15:50 地すべり  
千木良 雅弘（連携会員、京都大学防災研究所教授）

15:50～16:10 海底地すべり  
川村 喜一郎（山口大学大学院理工学研究科自然科学基盤系学域准教授）

16:10～16:30 火山災害  
高橋 正樹（日本大学文理学部教授地球システム科学科教授）

16:30～16:50 火山災害とG-EVER  
宝田 晋治（産業技術総合研究所 地質情報研究部門；G-EVER幹事）

16:50～17:00 休憩

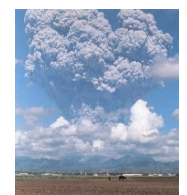
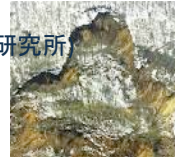
17:00～17:55 パネル討論

17:55～18:00 閉会挨拶  
北里 洋（前出）

コーディネーター：

北里 洋（前出）佐竹 健治（前出）松本 良（日本学術会議連携会員、明治大学農学研究科特任教授）  
千木良 雅弘（前出）小川 勇二郎（前出）

後援：日本地球惑星科学連合、日本地質学会、海洋研究開発機構、防災科学技術研究所



### 日本学術会議案内図



申込先：日本学術会議事務局企画課学術フォーラム担当

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL: 03-3403-6295 FAX: 03-3403-1260

申込みフォーム：<https://form.cao.go.jp/scj/opinion-0003.html>